

## JDTA 中長期計画

### ■理念

一般社団法人日本ろう者テニス協会（JDTA）は、デフテニスを通じて、障がいのある方の社会参加・社会貢献への意欲を高め、分け隔てのない共生社会づくりに努めることを理念とする。

### ビジョン

各種大会、テニス交流会、テニスクリニック等の開催を通じて、デフテニスの楽しさや魅力を国内外に届けるとともに、障がいの有無にかかわらず全ての人がテニスを通じて豊かな気持ちになることができる環境の整備を目指す。

### ミッション

上記の理念・ビジョンの実現のため、主に以下のミッションを行う。

- (1) デフテニスの普及の促進
- (2) デフテニス選手の競技力向上
- (3) デフテニスの各種講習会の開催
- (4) JDTA の組織基盤の強化
- (5) CISS（国際ろう者スポーツ連盟）の事業への協力

### ■大会事業計画

#### 長期計画

JDTA 選手権大会についてシングルスに加えてダブルスを新設し、国内大会を年 2 回以上実施して、各大会の参加者も 80 名以上とする。

#### 中期計画

2025 年に日本で初めて開催されるデフリンピックの成功に向け、2024 年にブレデフリンピックを開催し、JDTA はデフテニスの大会を運営する。

#### 施策

- ・毎年 JDTA 選手権大会を運営する。
- ・毎年全国ろうあ者体育大会の運営に携わる。
- ・JDTA 選手権大会において毎年最低でも 2~3 名の新規選手およびジュニア選手が参加するよう競技の普及と大会の知名度向上に努める。

- ・デフリンピックおよびブレデフリンピックの実行委員会を発足させ、組織的に機能するための施策を検討し実行する。

## ■強化事業計画

### 長期計画

- ・東京デフリンピック 2025 大会開催以降の世界大会やデフリンピック等の各大会において、常にメダル獲得または上位入賞する。
- ・コーチの育成および JDTA における次世代選手発掘体制の強化を通じて、10 年以内に世界デフテニスユース大会に選手を派遣する。

### 中期計画

- ・2023 年世界チーム別テニス選手権大会において、日本チームとして男女でメダルを獲得する。
- ・2024 年アジア太平洋競技選手権大会において、男女シングルス、男女ダブルス、混成ダブルス種目でメダル獲得または上位入賞する。
- ・2024 年世界デフテニス選手権大会において、男女シングルス、男女ダブルス、混成ダブルス種目でメダル獲得または上位入賞する。
- ・2025 年デフリンピック東京でメダルを獲得するために、シード権を獲得する。
- ・2025 年デフリンピック東京において、男女シングルス、男女ダブルス、混成ダブルス種目でメダル獲得または上位入賞する。

### 施策

- ・日本スポーツ振興センター・日本パラスポーツ協会・日本テニス協会等、関連団体と連携した選手強化活動を継続・発展させる。
- ・特にダブルス種目において、高いレベルの対戦相手の招致、コミュニケーションの強化等の観点等から、強化合宿をさらに充実させる。
- ・コーチ・トレーナーを発掘・育成する。
- ・トレーニング、ドーピング、健康管理、栄養管理など様々な観点からの専門家を招致して医学および栄養学等の見地にに基づき選手を指導する取り組みを継続・発展させる。

## ■普及事業計画

### 長期計画

東京デフリンピック 2025 大会開催後、デフテニスの国内知名度をパラリンピック並の水準にし、全国各地から新規加入者を増やす。

### 中期計画

デフテニスを知らない方または初心者およびその指導者を主な対象として、東京デフリンピック 2025 大会に向けて知名度を着実に高める。

### 施策

- ・ユース選手の育成および新規選手発掘活動を継続・発展させる。
- ・テニス交流会やテニスクリニック等を開催する。

## ■組織強化計画

### 長期計画

役員の増員および新陳代謝を図り、特定の役員に頼らない信頼のおける JDТА の組織体制を確立する。

### 中期計画

常勤の事務局職員を配置し、財政面で自律的な協会運営を行う。

### 施策

- ・選手目線での活動を実現するための組織体制のあり方を検討し、実現する。
- ・定期総会だけでなく、一般会員との交流会において JDТА の在り方の意見交換を行い、選手や一般会員の意見を適切に反映した協会運営を行う。
- ・スポンサー獲得に向け、スポンサー獲得に向けた体制を整備・強化して、JDТА の活動について社会の目に触れる機会を増やし、また、スポンサーシップに基づくスポンサー側の特典も充実させることで、スポンサーからの支援を受けやすくする。
- ・地域との繋がりを一層深め、お互いの活動を高め合えるように、JDТА も含めて、東日本・東海・西日本の各ブロック間のコミュニケーションを密にする。具体的には、年に 2 回、合同リモート会議を実施し、JDТА・関東・東海・西日本の理事の出席のもとにそれぞれの運営状況を報告・相談を行い、情報共有を行う。
- ・『ひとりぼっちのデフテニス選手をなくそう』プロジェクトに基づく課題解決のために、都道府県単位でのテニス選手発掘に向けて各都道府県の聴覚障がい者協会（ろうあ協会）の体育部長を通じて定期的に調査を行い、選手存在の情報があればブロック長に紹介してデフテニスの勧誘に結び付けていく。

以上